

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立水島工業高等学校		
実践者等		安原 啓史	実践日	令和4年5月12日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		工業・建築計画(室内の空気汚染)		
対象生徒(学年等)		建築科1年		
育成を目指す資質・能力		■知識・技能 ■思考力・判断力・表現力等 ■学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ■思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ■課題のやり取りと評価の支援 ■効率化や省力化		
		☐ その他()		
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ■反転学習 ■補習・定着		
実践の内容				
(1) 単元についての説明・目標提示 ・ <u>スライド等を活用して「室内の空気汚染」について学習することを確認</u> ・ 空気汚染の原因や指標についてまとめていく (2) 教科書の内容を説明・解説 ・ どのような原因で空気汚染が起こるのかを考える ・ 空気汚染の指標を使って標準大気の値を読みとる (3) まとめとして小テストの実施 ・ <u>Google Classroomにあらかじめ配信済みの小テストフォームに解答する【写真1・2】</u> →解答を即座に回収でき、自動評価で点数を提示できるため学習内容が理解できたのかが提示できる (4) 本時の振り返り ・ <u>振り返りにもフォームを活用してアンケートを実施する</u> 紙媒体では記入しにくいことも入力では自身の端末から容易に回答できる				
【本時と家庭学習との連動】 (本時後) 小テストや振り返りフォームを活用して自身の自己評価につなげる 内容を理解できたのかがすぐにわかるため次回以降の取り組みの準備につなげることができる (欠席者への対応) 本時に欠席した生徒も Classroomにアクセスすれば資料やフォームを見ることができるため、欠席者も同様に学習を進めることができる				

